

ペットの災害対策

災害は突然起こります。いざというとき、人とペットが安全に避難できるよう、日頃から準備しておきましょう。



① 飼養施設の防災対策

ペットが普段いる場所が安全か確認しましょう。また、万が一ペットが逃げ出した時の保護方法や連絡体制を整えておきましょう。

- 家具やケージの固定・転倒防止・落下防止・ガラスの飛散防止対策
- ブロック塀・柵・檻・建物などの確認
- ペットが逃げた場合の保護体制、連絡体制の確認

② ペットが行方不明にならないための対策

災害発生時には、やむを得ずペットを残して避難したり、ペットとはぐれてしまう場合もあります。

保護された際に飼い主の元に戻れるよう所有者明示が必要です。

- 首輪、迷子札、足環など
- 鑑札・狂犬病予防注射済票（犬）
- マイクロチップ

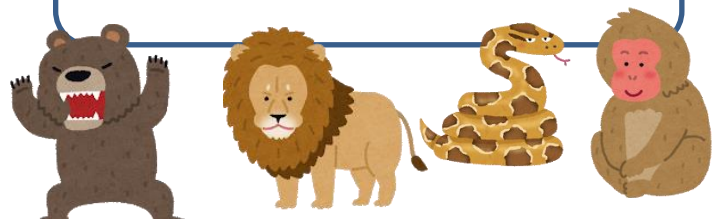


③ 避難所や避難ルートの確認

頭数が多い場合や小動物以外の動物は、自分で預け先を確保する必要があります。事前に、預け先、運搬方法を準備しておきましょう。

- 避難所までの交通手段、ルート、迂回路の確認
- ペット受入れ可能な避難所の把握
- 避難所での飼養環境の確認

特定動物、特定外来生物に指定された動物、これらに類する動物は、災害時でも飼養施設外に出してはいけません。



④ ペット用避難用品や備蓄品の確保

ペットの命や健康に関するものへ優先順位をつけて、すぐに持ち出せるように準備しておきましょう。

- 療法食、薬
- ペットフード・水（少なくとも5日分[できれば7日以上]）
- キャリーバックやケージ
- ガムテープ（ケージ補修など多用途に使用可能）
- 予備の首輪・リード（伸びないもの）
- ペットシート、猫砂、排泄物の処理用具
- 食器
- ペットの写真
- 健康の記録 ワクチン接種状況、既往症、健康状態、かかりつけの病院
- その他 おもちゃ、タオル、ブラシなど必要な物



⑤ ペットのしつけと健康管理

避難場所や預け先でスムーズに受け入れてもらうためには、基本的なしつけと健康管理が必要です。

- 基本的なしつけの実施
- ケージなどに嫌がらずに入る
- 各種ワクチンの接種
- ノミ・ダニなどの寄生虫の予防、駆除



※こちらも、ご参照ください。

「人とペットの災害対策ガイドライン（環境省ホームページ）」

村山保健所生活衛生課

乳肉衛生管理担当 023-627-1187